

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）担当教員一覧

\*印の教員は、2028年3月31日付けで定年退職予定または、2027年度研究指導は行わない者。  
 \*\*印の教員は、主任指導教員として志望できない者。  
 2027年3月31日付けで定年退職予定の教員は記載されていない。

<記載事項>

(所属専攻)		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
担 当 教 員	主 な 授 業 科 目	研 究 テ ー マ ま た は 研 究 分 野	
(職名) : (氏名)	(博士前期課程における主な授業科目)	(研究テーマ、研究分野)	
☎ 03-5978- (連絡先番号)		(連絡先メールアドレス)	

2026年6月1日現在

ジェンダー社会科学専攻 Gender and Social Sciences		☎ 03-5978- (下記☎参照)	
比較社会文化学専攻 Comparative Studies of Societies and Position Name	主 な 授 業 科 目	研 究 テ ー マ ま た は 研 究 分 野	
教授 : 大森 正博 Professor : OMORI Masahiro ☎(5987)	消費者問題論	【医療・介護、社会保障の経済分析】医療・介護制度を資源配分、所得分配の観点から分析し、望ましい医療・介護制度のあり方を考える。医療・介護制度の国際比較も行う。 e-mail: omori.masahiro@ocha.ac.jp	
教授 : 倉光 ミナ子 Professor : KURAMITSU Minako ☎(2612)	社会地理学特論	【人文地理学、オセアニア地域研究】最近の研究関心は、オセアニア地域研究、特にグローバル化によるジェンダーと慣習への影響、移民女性の子育てなど。主なフィールドはサモアとニュージーランド。 e-mail: kuramitsu.minako@ocha.ac.jp	
教授 : 小谷 眞男 Professor : KOTANI Masao ☎(5787)	生活法社会論、トランス・サイエンス論	【比較法社会史、トランス・サイエンス論】<生活>の比較法社会史・比較法文化史。特にイタリアを専門的フィールドとする。 e-mail: kotani.masao@ocha.ac.jp	
教授 : 斎藤 悦子 Professor : SAITO Etsuko ☎(5986)	生活経済論	【家事労働の社会化、企業の社会的責任】家計、生活時間をジェンダーの視点から分析する。特に雇用労働者世帯を扱い、企業と生活者の関係性に注目している。現在は、生活者が「企業の社会的責任」にいかに関係していくかを検討している。 e-mail: saito.etsuko@ocha.ac.jp	
教授 : 申 琪榮 Professor : Shin Ki-young ** ☎(5843)	フェミニズム理論の争点、ジェンダー立法過程論	【比較政治学、ジェンダーと政治】女性運動の日韓比較、ジェンダー・クォーター、ジェンダー主流化政策、Transnational Feminismなど、ジェンダー・フェミニズムの視点から比較政治学の問いに取り組む。 e-mail: shin.kiyoung@ocha.ac.jp	
教授 : 西村 純子 Professor : NISHIMURA Junko ☎(5788)	家族関係論	【家族と仕事の社会学】家族関係の変容とそのダイナミクスに関する実証的研究。特に、仕事と家族生活、子育てに関わる現象についての社会学的研究をおこなっている。 e-mail: nishimura.junko@ocha.ac.jp	
教授 : 長谷川 直子 Professor : HASEGAWA Naoko ☎(5196)	自然地理学特論	【自然地理学、地理の一般普及】気候変動（とくに温暖化）が湖に与える影響の解明。諏訪湖の結氷記録より過去の気候変動を解明する。環境問題や地理的視点の一般社会への普及の検討。 e-mail: hasegawa.naoko@ocha.ac.jp	
教授 : 宮澤 仁 Professor : MIYAZAWA Hitoshi ☎(5195)	地理情報論	【福祉の地理学、GIS、都市地理学】人口減少・少子高齢化に伴う都市・地域の問題を地理情報システムと地域分析手法を用いて分析し、生活・福祉の視点から課題解決に取り組む。 e-mail: miyazawa.hitoshi@ocha.ac.jp	
准教授 : 大橋 史恵 Associate Professor : OHASHI Fumie ☎(5341)	ジェンダー社会経済学	【フェミニスト政治経済学、国際社会学、移動とジェンダー】移住家事・ケア労働者の就労や生存をめぐる諸課題や彼女たちの社会運動について、主に中国・香港・台湾・日本でフィールドワークをおこないながら研究を進めている。またポスト冷戦期東アジアのジェンダー秩序や、そのなかで生起するトランスナショナルなフェミニズム運動にも関心をもっている。 e-mail: ohashi.fumie@ocha.ac.jp	
准教授 : キャロル マイルズ Associate Professor : CARROLL Myles ☎(5191)	現代政治経済論	【先進国における政治経済秩序と統括関係】日本を中心に、戦後以降の政治経済秩序をめぐる理論研究、社会的再生産論を含めフェミニスト政治経済理論、政治経済の観点から気候変動が資本主義社会に与える影響や課題についての研究を行なっている。 e-mail: myles.carroll@ocha.ac.jp	
准教授 : 申 知燕 Associate Professor : SHIN Jiyeon ** ☎(5188)	地域経済論	【人文地理学、移民研究】国際移住による都市空間の変容に関する実証的研究を行う。主に外国人や女性、性的マイノリティなど、社会的マイノリティのトランスナショナルな移住と都市生活に焦点を当て、アメリカ・イギリス・日本・韓国の事例を分析する。 e-mail: shin.jiyeon@ocha.ac.jp	
准教授 : デ アウカンタラ マルセロ Associate Professor : DE ALCANTARA Marcelo ☎(2084)	法女性論	【家族法、生殖補助医療と法】親子法について、特に生殖補助医療に関連して生じた諸問題に関する研究を行っている。日本の家族法と諸外国の家族法との比較研究も行っている。家族法と国際化、家族法とジェンダーの問題にも関心がある。 e-mail: marcelo.de.alcantara@ocha.ac.jp	
准教授 : 豊福 実紀 Associate Professor : TOYOFUKU Miki ☎(5791)	生活政治論	【政治学、公共政策】政治学の観点から公共政策の研究を行っており、とくに女性の働き方にかかわる租税政策に注目している。 e-mail: toyofuku.miki@ocha.ac.jp	
准教授 : 脇田 彩 Associate Professor : WAKITA Aya ☎(5794)	生活福祉論	【社会調査法、社会階層論】社会階層やジェンダー等の属性による社会的不平等について、計量社会学の手法を用いながら研究を行う。職業とジェンダーの関連のほか、最近では地域内の社会階層と属性による格差にも注目している。 e-mail: wakita.aya@ocha.ac.jp	
講師 : 王 一瓊 Lecturer : WANG Yiqiong ☎(5260)	多文化コミュニケーション	【社会言語学、多文化共生論】「ことばと社会」及び「ことばと教育」の関係性を批判的視点から再考する。多言語多文化のダイナミクスを踏まえながら、政策制度や社会構造が言語使用に及ぼす影響を考察し、社会的排除と包摂のメカニズムを理論的・実証的に探求する。 e-mail: wang.yiqiong@ocha.ac.jp	
助教 : 大森 優美 Assistant Professor : OMORI Yumi ** ☎(5254)	研究方法論コースワーク（質的調査法）	【平和研究】民族紛争を経験した社会における和解や共生について、主に北アイルランドと南アフリカをフィールドとし、ジェンダーの視点から検討している。 e-mail: omori.yumi@ocha.ac.jp	
助教 : 小前 和智 Assistant Professor : KOMAE Kazutomo ** ☎(5786)	労働と社会政策	【労働経済学】 e-mail: komae.kazutomo@ocha.ac.jp	